

「地域防災コミュニティプロジェクト」

～2年次生「総合的な探究の時間」での取り組み～

静岡県立駿河総合高等学校

2022年度 防災教育チャレンジプラン最終発表会

静岡県立駿河総合高等学校の紹介

- 所在地 静岡市駿河区
駿河区唯一の公立高校（市内14校のうち）
- 創立10周年
商業科高校と普通科高校が合併
- 総合学科、ユネスコスクール
多様な教科選択、SDG s の取り組み
地域連携活動が盛んな校風
- 進路先は、就職 1 ～ 2 割、進学 8 ～ 9 割
うち、静岡県内に残る生徒は 8 割以上



プロジェクトの背景 ～防災の各々の取り組み～

1 各教科での取り組み

- ・商業科…「課題研究」で静岡新聞社と協働でBuddy projectに継続参加
- ・家庭科…「リビングデザイン」でふじのくにジュニア防災士の取得 など

2. 生徒の自主的な活動での取り組み

- ・津波サミットへの参加（2020、22年）
- ・静岡大学山本先生の水防災授業を生徒が生徒のために実施（2020、22年）
- ・卒業生が在学中に、学生防災NPO団体を立ち上げる（2020年） など

3. 学校全体での取り組み

- ・静岡大学藤井ゼミの協力を得て、保育実習で園児に「防災をつたえる遊び」を考案し、動画を贈る（2021年・1年次生「産業社会と人間」）

2022年のチャレンジ！ ～プロジェクトの立ち上げ～

・防災の取り組みを持続可能にするために、全校生徒に広げたい。



・コロナ禍だからこそ、地域との繋がりを深め、学校外のフィールドで学んでほしい。



2年生240人を地域に出し、防災を切り口に、地域課題の解決を考える探究活動ができないか？ 防災を通して、地域課題を自分ごとにできないか？



相談・協力要請

駿河区役所 地域総務課

「高校単位で防災に取り組む活動はレア」

静岡大学教育学部 藤井基貴先生

「アウトプットベースではなく、アクションベースで」

(防災教育・防災道徳)

(調べて発表)

(やる・作る)

2022年4月 「地域防災コミュニティプロジェクト」のスタート

**地域
防災
コミュニティ
プロジェクト** に飛び出して
を切り口に
を作り出す
探究活動

高校生ができることを
やってみよう！ 作ってみよう！

愛を持って社会に踏み込もう！

社会を1mm動かそう！

- ・2年次生 240名
- ・総合的な探究の時間（週1時間 年間36時間）
- ・地域連携（フィールドワーク）先 静岡市役所を含む11団体
- ・静岡大学藤井基貴先生とゼミ生の協力

プロジェクトのねらい ～防災「で」、地域課題を学ぶ～

- 1 地域防災（静岡市もしくは駿河区）を学ぶことで地域の困りごとを自分ごととし、「愛郷心」・「市民性」を育む。
- 2 防災活動を通じて高校生ができることを探究し、「地域貢献」を実際に行う。
- 3 防災啓発活動を通じ、様々な「コミュニティの形成・醸成」を推進する。
- 4 これからの「社会で必要な力（非認知能力）」を身につける。

兵庫県立舞子高等学校環境防災科の立ち上げ
「防災の専門家ではなく、市民リーダーを育てる」

（兵庫県立大学 客員教授 諏訪清二先生）

災害＝自然現象の加害力×社会の脆弱性

（独立行政法人教職員支援機構
助教 吉田尚史氏）

地域の連携（フィールドワーク）先とチーム分け

連携先	チーム数（人数）	連携先	チーム数（人数）
静岡市役所 危機管理総室	5チーム（20人）	静岡市国際交流協会	5チーム（20人）
駿河区消防署 市役所	5チーム（20人）	静岡ムスリム協会 外国人	5チーム（20人）
登呂地区自治会 町内会	5チーム（20人）	カリタス有東 高齢者	5チーム（20人）
有東地区自治会 民間企業	5チーム（20人）	子育て支援センターよしよし	5チーム（20人）
(株)中部電力パワーグリッド	5チーム（20人）	野外保育ゆたか 子ども	5チーム（20人）
静岡市女性会館 ジェンダー	10チーム（40人）	計	60チーム（240人）

- ・1チーム4人
- ・どのチームに属するかは、生徒個々の希望をとって調整（クラス解体）
- ・生徒には「自身の進路希望に繋がる連携先を」とアドバイス

プロジェクトの1年間の流れ

- 4月 プロジェクトのガイダンス
- 5月 講義3回（静岡市危機管理総室）
- 6月 チーム決め
フィールドワーク
- 7月 中間発表Ⅰ（企画書） ★連携先来校
- 8月 夏休み活動
- 9月 夏休み活動発表
- 10月 活動続き
- 11月 中間発表Ⅱ（成果と仮説） ★連携先来校
- 12月 最終発表（今後の展望） ★連携先来校
※休校により、1月30日に延期

インプット（情報収集）



アクション（課題解決）

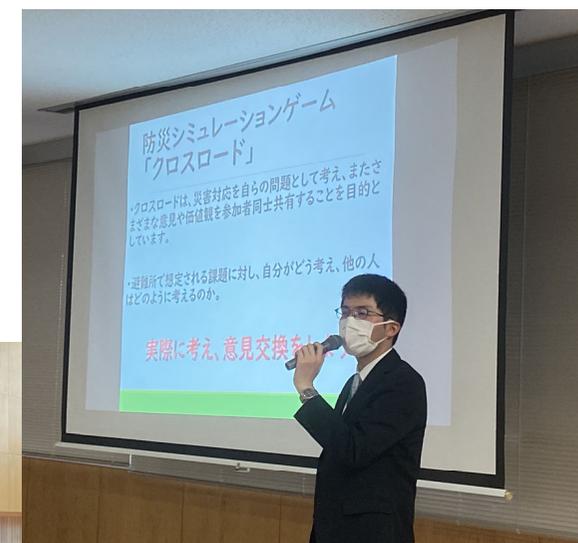


アウトプット（意味付け）

5月 防災講座 静岡市危機管理総室

インプット（情報収集）

- 1回目 静岡市の現状把握と状況分析
- 2回目 公助・共助・自助について
- 3回目 ハザードマップと避難場所とは



防災シミュレーションゲーム
「クロスロード」

クロスロードは、災害対応を自らの問題として考え、またさまざまな意見や価値観を参加者同士共有することを目的としています。

避難所や想定される課題に対し、自分がどう考え、他の人はどのように考えるのか。

実際に考え、意見交換をしよう。

6月 フィールドワーク (市内11か所)

インプット (情報収集)

静岡市役所
避難所運営ゲーム
(HUG)



駿河区消防署
応急処置・運搬法



自治会 (登呂・有東地区)
まち歩き・防災倉庫の見学



6月 フィールドワーク (市内11か所)

インプット (情報収集)

(株) 中部電力パワーグリッド
災害対策本部・ソーラー施設見学

静岡市女性会館
「防災×ジェンダー」講話&ワークショップ



6月 フィールドワーク (市内11か所)

インプット (情報収集)

静岡ムスリム協会
モスク見学 & ワークショップ

静岡市国際交流協会
外国人防災リーダーのお話 & ワークショップ



6月 フィールドワーク (市内11か所)

インプット (情報収集)

カリタス有東
高齢者疑似体験
講義 & ワークショッ



子育て支援センターよしよし
赤ちゃん連れのお母さんにインタビュー
子連れ避難の講義



森のようちえん
竹チップトイレなど防災術、
講義、園児との交流



7月 中間発表会 I (企画書)

フィールドワークで感じたこと、考えたことをもとに、企画書（5W2Hシート）を作り、発表した。



アクション（課題解決）

総合的な探究の時間

「地域コミュニティ防災探究」企画書 5W2Hシート

WHO 誰のために？ 具体的な対象者を記入	
WHY なぜ？ なぜ、その対象者のためにやるのか？ その対象者が抱える具体的な困りごとや課題は？	
WHAT 何をするのか？ 具体的な提案プランを記入	
WHEN いつ実施する？ 具体的な日程・時間等の案を記入	
WHERE どこで？ 具体的な場所の案を記入	
HOW MANY どのくらい？ 何人くらいに？何回実施するのか？	
HOW MUCH いくら？ 準備物や想定される費用は？	
！（効果は？） 実施した場合、どのような効果があらわれるか。その状況をできるだけ具体的にイメージする。	
夏休み中の活動計画 個人あるいはグループで準備、活動する内容を具体的に記入	

7月21日に、市役所やフィールドワーク先、静岡大学の皆さんに提案します。それまでに、完成させること。

チーム活動一覽

チーム活動内容一覽

班	アクション内容
静岡市役所	1 ペット連れ避難マニュアルのポスターを作成する。学校近くのペットショップにポスターを貼り、見てくださった人にインタビューを行う。
	2 災害が起きる前と起きた後にとるべき行動がわかるポスターを作成する。
	3 静岡の観光名所(三保、駿府城、久能東照宮)の避難場所を現地調査し、海外からの観光客のための観光防災マップを作る。
	4 災害時に子どもが集まれるスペースをつくる。災害時に子どもたちと遊んでくれるボランティア募集のポスターを作り、校内に貼る。
	5 妊婦さんが災害時に取るべき行動や必要なものなど紹介するポスターを作成した。
駿河消防署	1 各家庭で室内報知器を設置しているかどうかのアンケートを回収版で実施した。
	2 防災倉庫の確認をした。疾病者の搬送、応急手当の仕方を説明したチラシを作成した。有東地区へ配布する。
	3 火災報知器設置率を上げるためのポスターを作り配布する。
	4 包帯の巻き方や人の運び方のポスターを作り、高校付近の地域に配布する。
	5 火災警報器設置率を上げるためのチラシを自分の住んでいる地域に配布する
静岡市女性会館(ジェンダー)	1 安心安全な避難所運営を呼びかけるポスターを作成した。
	2 ジェンダーに関するクイズブックを作成した。女性会館1冊、学年に1冊置いてもらう。
	3 ジェンダー、男女理解のための調査をし、まとめた。
	4 女性や子供の視点から考えた防災や避難所での対策について、川柳にして紹介する。
	5 避難所で遊べるおもちゃ(カルタ)をつくった。
	6 避難所で遊べるぬいぐるみ(ブランケット、懐中電灯収納可)をつくった。
	7 駿河総合2年生へ防災意識アンケートを実施した。SNSにあげる。
	8 女子高生向けの防災ポーチを提案した。
	9 災害時におけるジェンダー問題を知ってもらうポスターを作成し、市内各所(豊田中学、静岡大学、南部体育館など)に貼った。
	10 性差による偏見をなくすために高校生男女へ「得意なこと」「災害時に活躍できる仕事」のアンケートを実施し、tik tok に投稿した。
自治会・登呂	1 登呂地区の子ども関連施設に向けて、散歩中に地震が起こったらどう行動したらよいかの紙芝居を作る。
	2 富士見地区の防災マップを作った。防災マップを自治会や小学校に配る。
	3 マンションの上層階に住む高齢者の降ろし方(車いす、シートを利用)をまとめ、パンフレットにして広める
	4 防災倉庫と第一避難場所の確認。防災シートを公民館に掲示する。
	5 避難経路の清掃活動をした。
自治会・有東	1 有東地区の避難場所を確認した。見やすい避難マップを作り、有東地区に配布する。
	2 高齢者の立ち寄り地「なごみ」を紹介するポスターを駿河総合高校内に掲示した。
	3 カリタス1班とUSと一緒に、放課後デイサービスで「防災カフェ」を実施し、防災に関する豆知識や新聞スリッパの作成をした。
	4 高齢者が家でできる簡単なストレッチのポスターを作成し、有東団地に貼る。
	5 階段の昇り降りや避難グッズを紹介するポスターを作成した。衛生写真を使って、有東団地の分かりやすい避難地図を作成した。

アクション (課題解決)

国際交流協同会	1 日本の住んでいる外国人向けの災害情報インスタを開設した。
	2 外国人向けの災害クイズをカフト(アプリ名)内に作った。最終確認してネットにあげる
	3 やさしい日本語の災害時リーフレットを作成し、市役所(静岡市国際交流協会)に設置する。
	4 災害時によく使われる日本語15種類をやさしい日本語に変換した動画を作り、You tube にあげた。
	5 静岡市危機管理総室の方にインタビューし、外国人向けの防災インスタを開設して情報発信をした。
静岡県スリム協会	1 イスラム文化マシジドの使い方を知ってもらうためのポスターを制作し、掲示する。
	2 ムスリム子ども会でも防災の遊びをする。
	3 アラビア語で避難経路などのポスターを作り、マシジドに掲示する予定だったが、中田地区の清掃活動をした。
	4 ムスリム子ども会と女子会に参加し、ハラルクッキーのプレゼントをしたり、女性に困りごとをインタビューした。インスタを開設する
	5 ハラルチャリティボックス(食べ物、文房具など)を校内で募り、マシジドに寄付した。ムスリム子ども会で防災おにごっこを実施した。
子育て支援	1 赤ちゃん用防災バッグの紹介をする冊子をつくり、子育て支援センターに寄付をした。
	2 災害時に赤ちゃんを安全に運べるベビーバスケットを紹介するポスターを作成した。
	3 災害時に「経て場所をとらないおもちゃ」を年齢別に考案・作成し、説明書をつけて子育て支援センターに寄付した。
	4 「キラキラ JK 防災サポーター」のインスタ開設し、防災情報を発信した。子育て支援センターでインスタ説明会とインタビューをした。
	5 災害時子育てを家庭を支援するための赤ちゃん基礎知識を記載した冊子を作成した。簡易おむつの作り方ポスターも作成した。
野外保育ゆたか	1 生徒対象に災害時のトイレ講座を企画した。竹チップ以外に消臭効果のある木を検証した。インスタ開設で災害時の状況を発信する。
	2 災害時のごはんの作り方(バッククッキング)の動画を作成した。
	3 トイレ問題についてと簡易トイレの作り方を動画にした。SNS で動画を配信する。
	4 災害時なるべく白米を消費せずに満腹感を得るメニューを考え、試作した。栄養バランスも整えた。
	5 SDGsイベントで、「防災×トイレ」のポスターを掲示した。11月26日のイベントで、アンケート調査を実施する。
カリタス有東	1 有東3班と一緒に、高齢者と小学生向け「するそうカフェ」を開催した。(防災講座、新聞スリッパ、牛乳パックホイッスル作成体験)
	2 カリタス有東の利用者さんに「防災宣言シート」(避難経路、意識する点、自宅からの避難場所の確認)を作ってもらった。
	3 ユニバーサルデザインの勉強を生かして、高齢者視野メガネを作成し、見やすい張り紙を考えた。
	4 8月と9月に防災バックと防災ハックの講座をカリタス有東で実施した。高齢者向け防災バックを提案した。
	5 高齢者のための「防災駅伝」を考えた。実施して改善点を見つける。
中部電力	1 専用のtwitter アカウントを開設し、アプリ普及のためのツイートをした。CM で宣伝した。
	2 アプリ名の変更(断念)。12月下旬に第一テレビの「Dstyle」番組で自分たちの活動やアプリの紹介をする。
	3 防災イベントを実施する。SBS テレビ「Soleいいね」の中でCM 宣伝した。12月にSBS のニュース番組でアプリを紹介する。
	4 11月11日に行われる駿河総合高校の防災訓練で、2年生にアプリを紹介した。
	5 11月9日に街中で、アプリ QR コード付きのティッシュとマスクを配布した。

アクション（課題解決）

チーム活動の紹介 ～高齢者の課題解決～

自治会（有東） 3班
「するそうカフェ」の開催
防災クイズ・新聞スリッパづくり



カラス有東3班
高齢者向け「ライフハック」講座



アクション（課題解決）

チーム活動の紹介 ～子育て世帯の課題解決～

子育て支援よしよし 4班
「キラキラ」K防災サポーター」インスタ
開設、母親との座談会

ジェンダー 3班
ブランケット付きぬいぐるみの製作



チーム活動の紹介 ～外国人の課題解決～

静岡ムスリム 5班
ハラルチャリティボックス&
ムスリム子ども会で「防災鬼ごっこ」



市役所 3班
外国人観光客向け
「観光地避難場所マップ」作成

Tourism disaster prevention MAP ~in Shizuoka City~

すんぷじょうこうえん
Sunpuzyoupark
しずおかしあおいすんぷじょうこうえん1-1
☎054-221-1433

みほのまつばら
Mihonomatubara
しずおかしみずくみほ
☎054-340-2100

くのうざんとしょうぐう
Kunouzanntousyougu
しずおかしするがくねごや390
☎054-237-2438

引用元: Google社「Googleマップ」

チーム活動の紹介 ～外国人の課題解決～

静岡市国際交流 1班
やさしい日本語の災害リーフレット

静岡市国際交流 5班
外国人向け「防災インスタ」開設

じしん
【地震】

地震がきたら何をやる？
What do you do when an earthquake strikes?

建物の中 inside a building

- 火を消す I put out a fire
- 窓の近くに行かない I move away from the window
- ドアや窓をあける I'm to open a door or window
- テーブルの下に隠れる I hide under the table

建物の外 outside a building

- 近くの公園や広場に逃げる I flee to nearby parks and squares
- 子供だけ走らない Children alone don't run away
- 車から降りる I get out of a car
- カバンなどで頭を守る protect mine head with a bag

【マグニチュード.M】

マグニチュードとは地震の大きさを表す

大きい big

M9 海：大きい津波がくる 陸：大きな災害になる

M8 少くも津波がくる

M7 少くも津波がくる

M6 少くも津波がくる

M5 少くも津波がくる

M4 少くも津波がくる

M3 少くも津波がくる

M2 少くも津波がくる

M1 少くも津波がくる

小さい small

【震度】

震度とはゆれの大きさを表す

大きい big

震度7 家が壊れ、倒れる

震度6強 人が動けず、飛ばされる

震度6弱 人は立つが揺れが強い

震度5強 人は立つが揺れが強い

震度5弱 人は立つが揺れが強い

震度4 つり下げられているものが大きく揺れる

震度3 建物の中にいる人が揺れを感じる

震度2

震度1

小さい small

こうずい
洪水
flood

雨がおい heavy rain
川があふれる river overflows

↓

どうろがわたれない can't cross the road
いえに水がはいる water in the house

対策 measures

- ゴミ袋で水のうをつくる make a water bag out of garbage bag
- ちかくに川があれば 避難する evacuate if there is a river nearby

どしゃさいがい
土砂災害
Sediment disaster

山がくずれる mountains crumble

↓

家がこわれる house breaks down

対策 measures

- 自分のいえがあぶないか かくにんする make sure your is safe
- 山からとくに 避難する take refuge far from the mountains
- 情報をあつめる gather information

防災メモ

- ①住んでいる場所
- ②逃げる場所
- ③頼れる人の電話番号
- ④その他

つなみ
【津波】 ⇒ 大きな波がくる
A big wave is coming

津波がきたらどこに逃げる？
Where do you run away when a tsunami hits?

- 木でできた建物に逃げない I don't evacuate to wooden building
- 歩いて逃げる I evacuate by walking
- 高い場所へ逃げる I evacuate at a high place
- 川や海の近くに行かない I stay away from the river and sea
- コンクリートでできた建物に逃げる I evacuate to a concrete building

surugasogo_kokusai

いいね! : yui_1922、他2人

surugasogo_kokusai あなたは火災が起きた時どのように避難しますか？
How do you escape when a fire breaks out?

チーム活動の紹介 ～ジェンダーの課題解決～

ジェンダー 9班
避難所における様々な配慮をよびかけるポスター

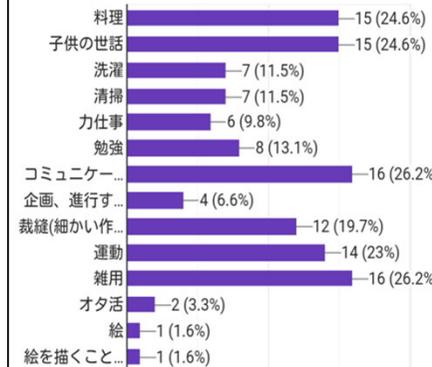


ジェンダー10班
避難所での役割分担のジェンダー意識をtik tokに投稿



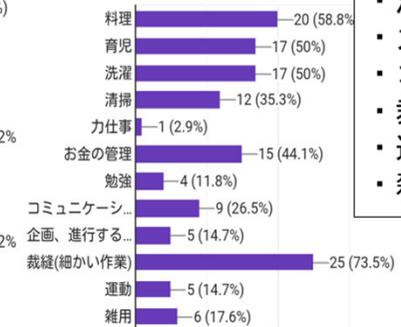
2.女性と答えた人に聞きます。
あなたの得意なことは何ですか？複数選んでも構いません。

61件の回答



3.男性と答えた人に聞きます。
あなたの思う女性が得意なことは何ですか？複数回答して構いません。

34件の回答



差が生まれた項目

- ・洗濯
- ・力仕事
- ・コミュニケーション
- ・裁縫（細かい作業）
- ・運動
- ・雑用

アクション（課題解決）

チーム活動の紹介 ～ライフラインの課題解決～

中部電力 3班
SBSテレビ・情報番組で
「停電アプリ」の広報活動



野外保育ゆたか 2班
災害時のごはんの作り方（パック
クッキング）の動画製作



大学との連携 ～静岡大学藤井研究室のサポート～

1 大学院生による授業サポート

時期：9月～12月

内容：探究の授業（月曜7限）に来校し
生徒へのアドバイス



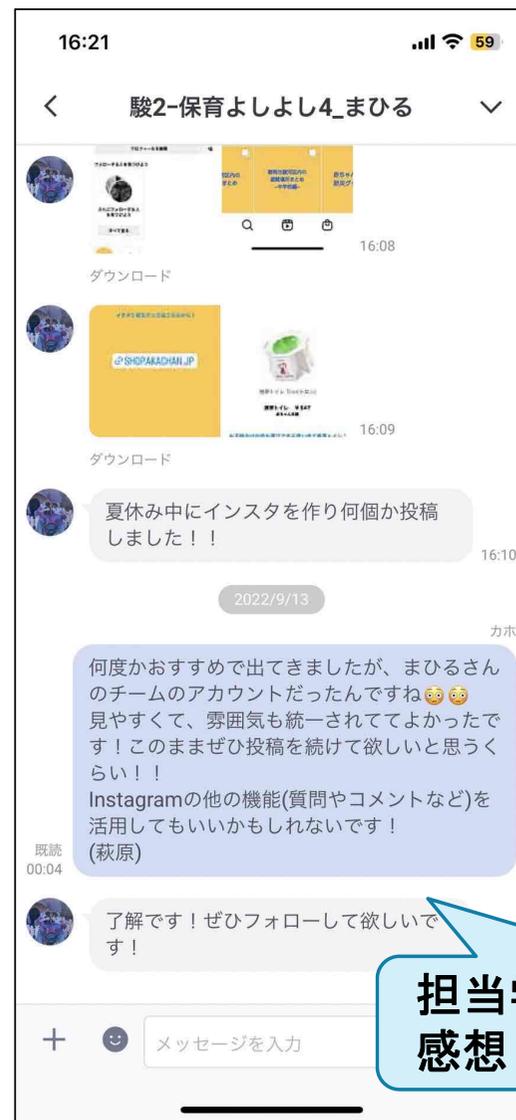
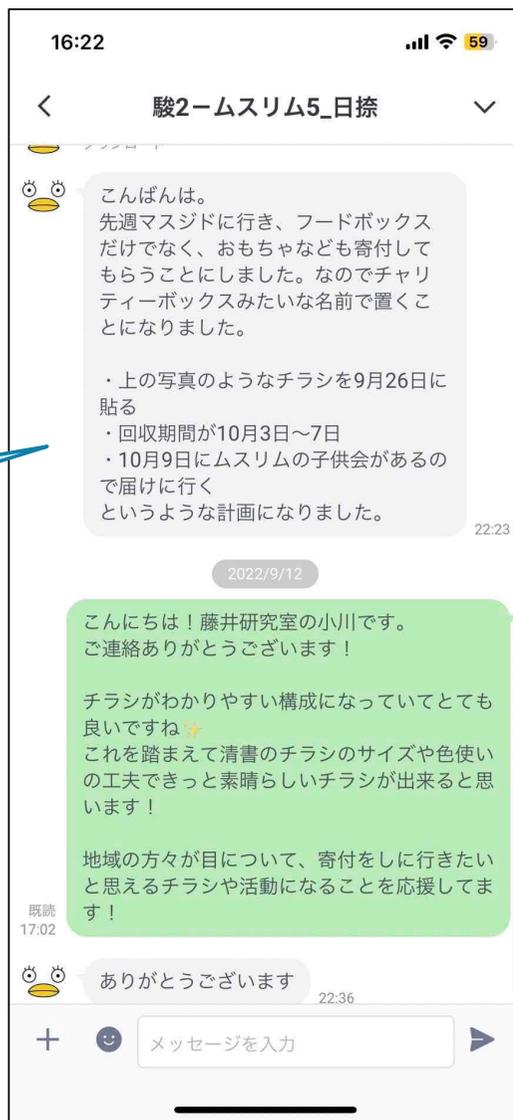
2 静大藤井ゼミ公式LINEでゼミ生によるサポート

時期：7月企画書立案～11月中間発表Ⅱまで

内容：高校生は、チームごと毎時間活動報告
大学生は、フィードバック,アドバイス

静大藤井ゼミ 公式LINE

チームリーダーは、
その日の活動や進捗
状況を報告



担当学生が、毎回丁寧に
感想・アドバイスを返信

9月 台風15号による被害（静岡市は浸水・断水・停電）

- お世話になっている連携先が、いち早く「対象者のニーズに沿った災害支援」を次々と実施。
→「防災探究ニュース」を発行し、生徒へ紹介
- 2年次生は、一部の生徒がボランティア参加

普段から活動していなければ、いざというとき動けない。

平時に何をしているか？が大事。

平時と非常時は地続き。

防災探究ニュース

2022. 10. 3. 駿河総合高校 2年次生

台風15号被害から、一週間が経ちました。

静岡市内、そして、県外からも、様々な支援の輪が広がっています。

静岡市役所、消防、中部電力、各自治会(町内会)などは、災害対応への中心として動いています。

その他の防災探究でお世話になっている連携先でも、「対象者のニーズに合わせた支援」を考え、現地調査(フィールドワーク)し、次々と実行(アクション)しています。

この行動力を見習いたいです。

野外保育ゆたか(代表 京井麻由さん)

・ゆたかの園舎にて、「にこにこ保育」をスタート!

片付けに追われる家庭のお子さんを預かりし、洗濯物もあずかる(洗って返してあげる)

(常葉大学保育学部の「とことこ保育」の終了を受けて、しずおか子育て防災ネットワークが、この活動を引き継ぐ形に)

・草薙駅に、県外の企業の協力を得て、温水シャワーの設置

カリタス有東で、講演をしてくれた Co-act 代表 渡嘉敷唯之さん

・在宅高齢者(個人宅)への飲料水配布

・ハザード×福祉資源マップの作製中

子育て支援センターよしよし

・被災家庭のために、子ども服、おもちゃ、飲料水、ミルクなど無料提供(家まで届ける)

・牛乳パック(子ども用トイレ)、タオル雑巾(浸水家庭の掃除用)の回収

静岡市女性会館(からの情報発信)

・赤ちゃんのいる被災家庭のために、沐浴(お風呂)や一時預かりをする助産院の紹介

・ひとり親家庭に、水や食料の配布(NPO シングルペアレント101)

11月 中間発表会Ⅱ (成果と仮説)

アウトプット (意味付け)

内容：活動報告と、仮説の検証

発表方法：スライド発表

連携先からのフィードバック →



2年次 地域防災コミュニティプロジェクト探究 中間発表会Ⅱ フィードバック表

本日はお忙しい中、中間発表会Ⅱにご参加いただき、ありがとうございます。
今後は12月の最終発表(活動の学びと今後の展望)にむけて、活動のまとめを行っていきます。
発表へのフィードバックをいただけるとうれしいです。

お名前 (ゆりか)

(/)班

臭いの検証をするのが難しかったので、中でも工夫して色を調えてみて
がよく分かりました。
SNS等の情報発信は、雨混じりの状況を想定して準備して下さい。

(2)班

楽しんで防災の事を考える様子がとてもよかったです。
動画の中に、自分達の考えを盛り込んで盛りこめるとオリジナリ
ティがでてくると思います。高校生がYouTubeにアップロードもぜひ!

(3)班

多くの人が「災害時トイレ」困ることを知らない、という部分の文章
がとても良かったので、ぜひアニメーションなどを追加して、訴求力
をアップして下さい。凝固剤の代用品も提示できるといいですね。乾草用品等

(4)班

健康面も考慮してレシピを楽しましです。
(災害時) 必要な栄養素が不足しがちかを調べてみると、より意義の
あるものになると思います。

(5)班

こちらからの情報発信が、来場者の学びだけでなく「気づき」に
つながることがとても大切だと思います。
ぜひ多くの人に声をかけて、沢山の人の話を聞けるといいですね。

全体を通してのご意見、アドバイスがあれば、ご記入ください。
皆さん、時間の中で、工夫してうまくまとめでいっておられてると
思います。前回の発表では、どうなるのか、とちょっと心配して
いましたが、それぞれのグループで、開けにほめていっているように
本当に良かったです。引き続きがんばって下さい!

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

アウトプット（意味付け）

1月 最終発表会Ⅱ（今後の展望）

内容：活動を通して学んだこと、今後の展望

発表方法：第1部 56チームのポスターセッション

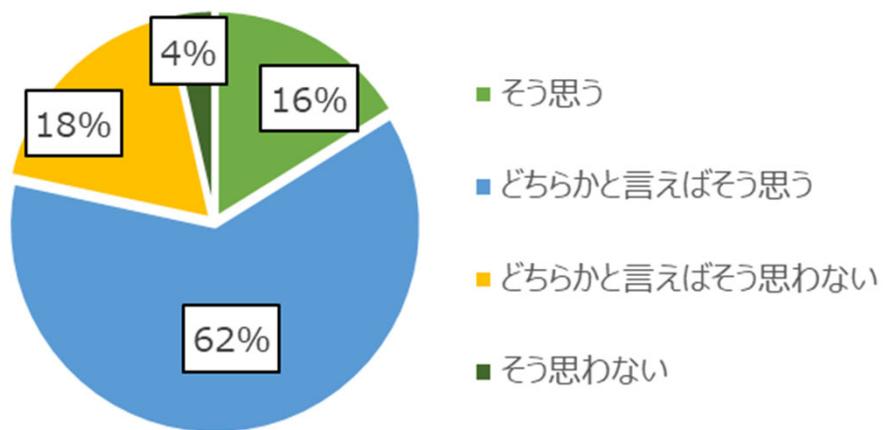
第2部 学年代表4チームの発表

全体講評（静岡市など連携先より）

（※当日の様子を、動画でご覧ください）

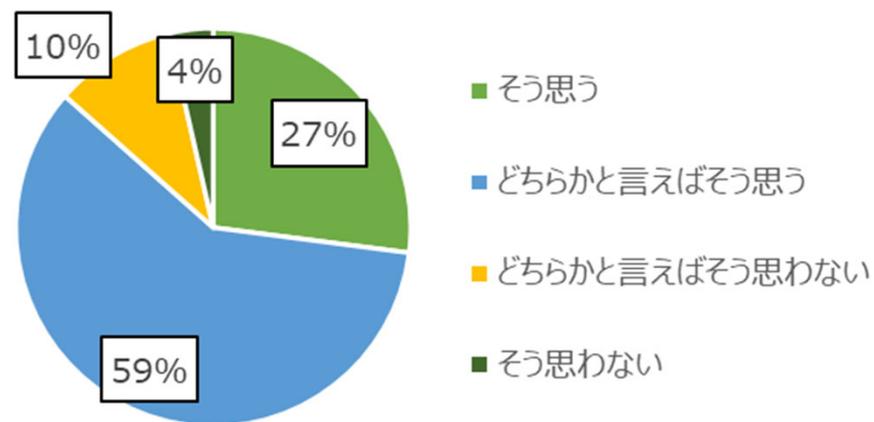
生徒 事後アンケート結果（ねらいの達成度）

これからも継続して防災を学び、防災に関わる活動をしたいと思う。



肯定的な意見 78%

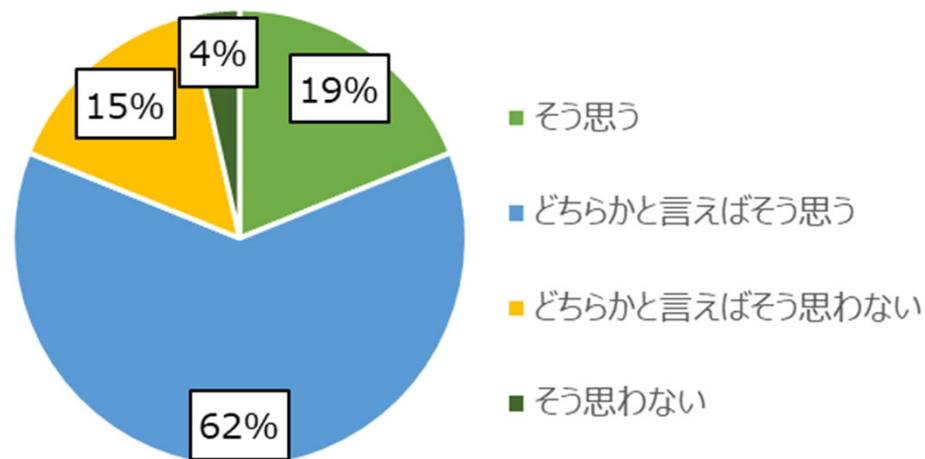
実際に災害が起こった際には、率先して行動を起こしたいと思う。



肯定的な意見 86%

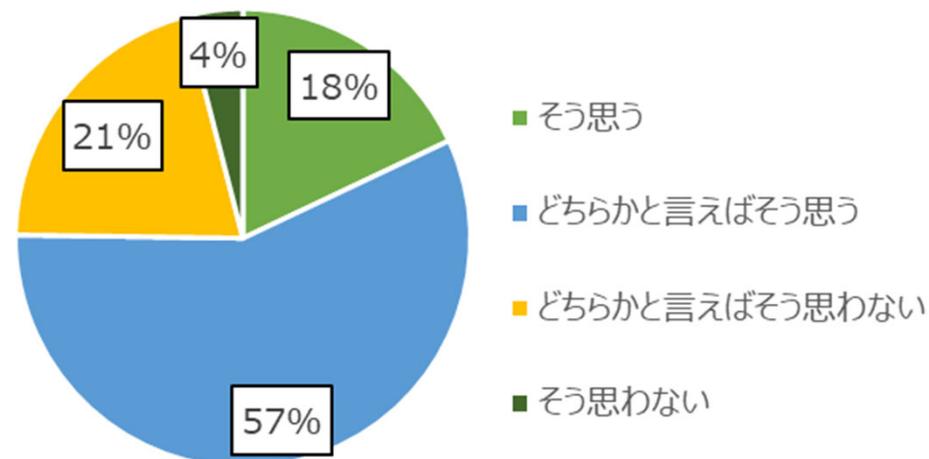
生徒 事後アンケート結果（ねらいの達成度）

これからも地域に住む多様な人たちと交流し、地域コミュニティに関わりたいと思う。



肯定的な意見 81%

静岡市をよりよくし、様々な課題を解決するために自分から社会に関わりたいと思う。



肯定的な意見 75%

成果として得たこと

個々の生徒

- 授業を飛び出し、自主的な活動ができたこと。
- アクションを起こすことで「自分たちにできることがある」と実感できたこと。
- 防災の取り組みを地域に発信できたこと。
- 防災を通じて、仲間や地域の人々とのつながりが生まれたこと。
- 結果として、防災の知識・技術が身に付いたこと。

全体として

- 学年全員で取り組んだことで、防災意識をボトムアップできたこと。
- 長期的に学習・実践したことや連携先・静岡大学と協働できたことで、地域の繋がりや新たなコミュニティが生まれたこと。

全体の反省・課題

- 11か所のフィールドワーク先との連絡調整や内容の企画に苦勞した。ねらいを共有し、連携先の多大なるご協力とご尽力のおかげで、有意義な活動になった。
- 60チームが同時進行で活動したため、その把握や伴走が難しかった。静大公式LINEや来校サポートのおかげでチーム個々への適切な支援・助言を得られた。
- チームによって活動の差が生まれる。（自走するチームと停滞するチーム）
- 「本当に効果があるか」検証が必要。（ポスターを貼る・SNSで発信するだけで、社会的インパクトはあるのか）
- 効果的な活動にするためには、情報収集・分析、文献調査がもっと必要。
- 生徒が自主的に校外へ出る際のリスク管理。

今後の活動予定

- 次年度 2年次生も同様の学習・実践を行う。
- 持続可能な活動にするために、
 - ① 連携先との継続的な関係作り
 - ② 校内の組織・体制づくり（担当部署と学年部の連携）
 - ③ カリキュラムマネジメント（総探と各教科の往還）の見直し
 - ④ 先輩から後輩へ伝承する仕組みづくりに取り組みたい。